

## 全校集会

### ➤ 表彰伝達【吹奏楽部・剣道部・バスケットボール部】

- ・ 皆さん、おはようございます。先週の金曜日の『文化発表会』では、午前中は『舞台の部』、午後は『展示の部』が行われました。
- ・ 3年生の舞台発表の『劇』については、集団で生活する中で色々と考えさせられる内容であったと思います。
- ・ 私は、講評の中で人の個性について「人には、得意・不得意があって・・・」というお話で終わっていましたが、
- ・ 個性には、得意・不得意だけでなく、ひとり一人の考え方、思いなどがあり、結局のところ考え方や思いが近い人が集まりやすいと思います。
- ・ 逆に、考えや思いの違う人を受け入れられないということも起こりがちで、これは中学生の今の時期だけでなく、大人になってもよくあることです。
- ・ 皆さんの場合は、「集団としてうまくいかない」、大人の場合は、「組織がうまくまわらない」という言葉でよく言われます。
- ・ やはり、『劇』の中にもあったように、自分の考え方や思いが違った人(集団)に対しても、まずはその人たちの考えや思いを聞くなど、受け入れられる気持ちを持つことが大切です。
- ・ そうでないと、いつまで経っても対立したままで、集団(社会)がうまくまわらない状態が続いてしまいます。
- ・ 『劇』の中で伝えなかったこと「お互いの個性を理解して、尊重できることでひとつにまとまる」ということは、大人のわたしたちにとっても良いメッセージとなりました。『個性を力に 感動を共に！』本当に素晴らしいテーマです。
- ・ 『展示の部』の作品も素晴らしかったですが、1年生のモザイクアートは、多くの保護者の方々からも絶賛でありました。
- ・ 「一つひとつの力が小さくても、1年生90名の力が一つに集まると、あんなに立派で、観客をも驚かせるような作品になるんだ！」と改めて感じました。
- ・ また、1年生の皆さんは、みんなの力を合わせて作り上げた2・3年生の『舞台発表』を観て「どう感じたのか？」を聞かせてもらえたらありがたいです。
- ・ 最後に国語科の『創作俳句』の中に、「もういない 夏の部活後 三年生」という句がありました。今後は、部活動などでは1・2年生が中心となります。上級生の良いところを見習って、もう半年で最上級生・先輩になるという意識をもってほしいと思っています。